



福助

みさと健和病院・柳原病院・柳原リハビリテーション病院
 発行：医療法人財団健和会（東京・埼玉）看護学生室
 〒341-8555 埼玉県三郷市鷹野 4-494-1
 TEL：048-955-9548 FAX：048-955-9549
 HP：<http://www.kenwa-kango.com>
 “みりよくなないろ”で検索!!



日中は暖かいものの朝晩の冷え込みが一気に強くなってきました。長かった緊急事態宣言が解除され人の動きも活発になっています。空気が乾燥するこの時期はインフルエンザや風邪などにも注意が必要です。体調管理をしっかりと乗り切りましょう！

病院見学&説明会、インターンシップのご案内

【病院見学&説明会】あなたのやりたい看護を見つけにきませんか？

法人、教育・研修制度、福利厚生等、あなたに合わせて就職後がイメージできるようにご説明します。院内見学では病棟ごとの特徴を説明しながらご案内します。希望者には看護師寮へもご案内します。平日の日勤時間帯なので病棟の雰囲気を感じる事ができ、多くの先輩看護師とも触れ合えます♪



病院見学&説明会スケジュール【例】
 10：00 病院到着
 10：00 説明会
 11：00 院内見学（看護師寮見学）
 11：20 終了

【インターンシップ】体験場所が選べます！体験場所以外は院内見学でご案内します。

- ◆病院の雰囲気を知りたい！・・・内科病棟・外科病棟
- ◆急性期に興味があります！・・・HCU病棟・外科病棟・手術室
- ◆地域看護の連携が見たい！・・・地域ケア病棟・緩和ケア病棟
- ◆保健師の資格を活かしたい！・・・健診センター

インターンシップスケジュールAM
 8：00 病院到着
 8：30 インターンシップ
 11：30 院内見学
 11：50 説明会
 12：30 終了



インターンシップスケジュールPM
 13：00 病院到着
 13：30 インターンシップ
 16：00 院内見学
 16：20 説明会
 17：00 終了

柳原病院・柳原リハビリテーション病院・訪問看護ステーション・地域包括支援センターについては新型コロナウイルス感染症防止の関係で受入れを中止しています。ご迷惑をお掛けして申し訳ありません。写真や先輩メッセージ動画など、資料をお見せしながら詳しくご説明します。

【日時】 月曜日～金曜日（祝日除く）
【定員】 午前1名・午後1名
【場所】 みさと健和病院

*片道上限2万円まで交通費の補助があります。
 *病院に来られない方は「オンライン説明会」も開催しています。お気軽にお申込みください。

▼申込みはこちらから



見学説明会
 申し込みQR



インターンシップ
 申し込みQR



奨学金制度のご案内

同じ目標を持った仲間と交流しながら学べ、入職後も一緒だから安心できます！！



- ◆様々な学校の仲間と交流しながら学べます!
- ◆入職前から先輩看護師との交流ができます!
- ◆看護講座やグループワークなどの多彩な奨学生活動!
- ◆将来同期になる仲間がたくさん!安心して入職できます!
- ◆同じ目標を持った仲間とだから一緒に頑張れます!

～最大 10 万円まで利用できます～

【貸与】月額 5 万円 (全額返済免除 *要件あり)

【貸付】月額 1～5 万円 (返済時無利息)

奨学金説明会

【場所】みさと健和病院

【時間】60 分程度

【その他】*規定あり

※お申込みはこちらから

kango.com/scholarship/index.html



～きらきら光る看護の醍醐味～

キラリ看護

～みさと健和クリニック 透析センター～

透析患者さんは糖尿病からなる方が多く、足病変に気付かない方が多くいます。取り組みとして月に 1 度のフットチェックを全員に、3～4 ヶ月に一度は細かいチェック、年 1 回は心エコー、足動脈エコー等も行っています。この取り組みで、潰瘍の早期発見ができるようになりました。特に高齢者は末梢神経や眼に症状が出るものの、本人は全く気付かず、趾間が洗えていなかったり少しの傷から症状が悪化して、1 年以上の皮膚科での治療でも治らずに、壊疽になる事もあります。定期的なチェックを継続する事で症状が酷くならない様に努めています。

～みさと健和病院 手術室～

パニック障害の患者さん。はじめての場所や物に反応してしまう。頸椎皮下腫瘍の切除術をする際、慣れている外来で行う事となった。恐怖心を与えないように説明。シュミレーションをしながら恐怖心を取り除けるように準備を進めた。局所麻酔をする際も通常は 1 名の看護師で対応するところを 2 名で対応し、手術を意識させないように配慮した。念入りのシュミレーションと看護師を増やして対応する事でパニックにならずに手術を行う事ができた。一人一人に合わせた対応を心がけた事例です。

～みさと健和病院 ER病棟～

80 代女性。入院中は他院に入院しているご主人にずっと会いたいと訴えていた。電話で話す機会をもうけ話すことができた。医師と看護師で相談し面会が可能にはなったが、その後状態が悪くなり意識がなくなり呼びかけにも反応しない状態でモニターもフラットになってしまった。ご主人が到着し話しかけたところ心拍数が 120-130 に上昇。その後フラットになり死亡を確認した。コロナ禍で面会禁止だったため調整に 3 日かかったが、最期に入院中にずっと訴えていた「ご主人に会いたい」という希望を叶える事ができた事例です。

看護部では事例を共有する事で自分たちの看護に役立てています。